

徳島県の地震

令和2(2020)年10月

目次

◎徳島県の地震活動

震央分布図・断面図	…	1
概況	…	1
徳島県で震度1以上を観測した地震の表	…	2
震度分布図	…	2

◎地震メモ

津波から身を守るために	…	3
-------------	---	---

*「徳島県の地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

*本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

*本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

*この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

*全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。
<https://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaeq.html>

*大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。
<https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

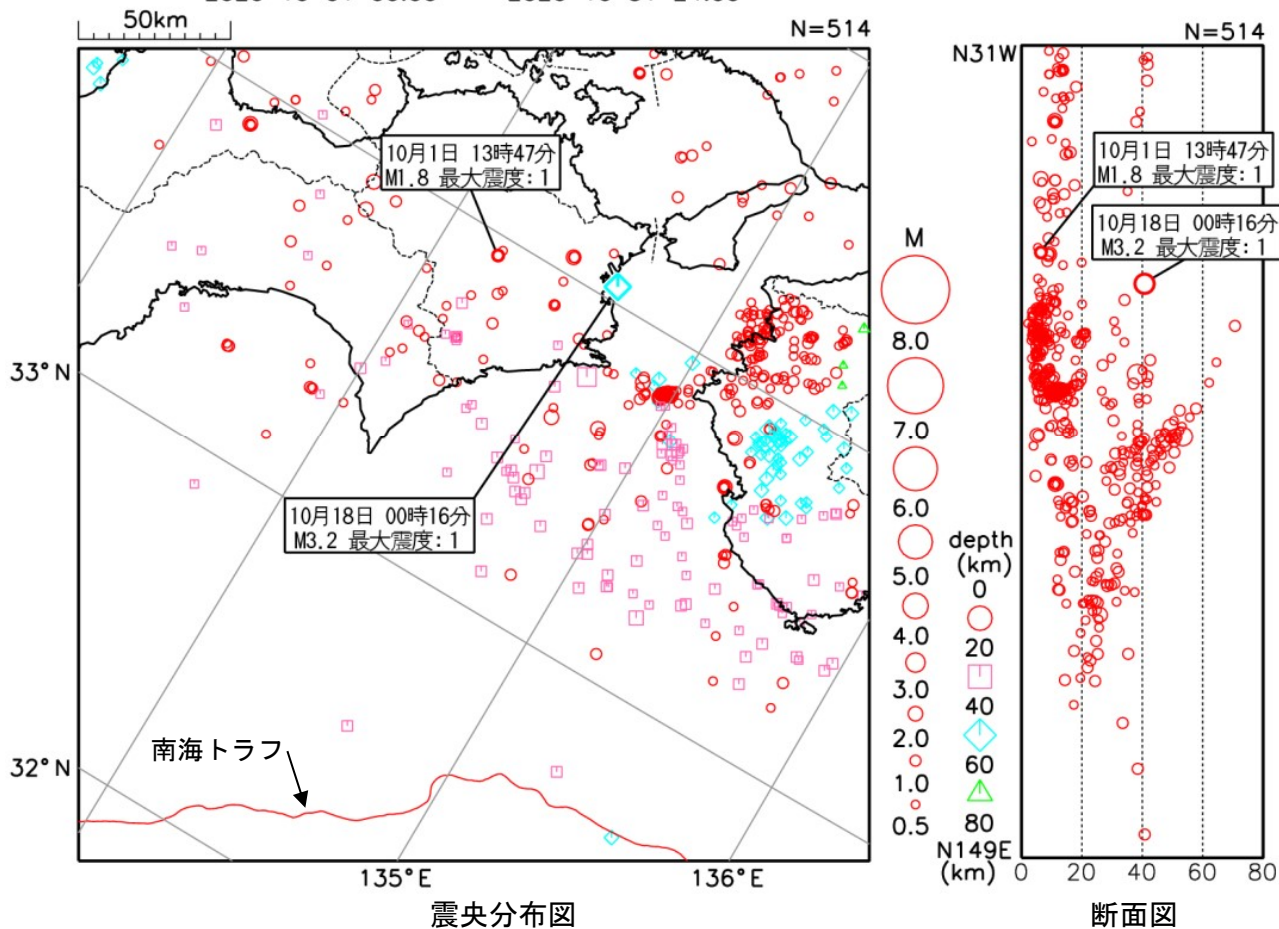
徳島地方気象台

(<https://www.jma-net.go.jp/tokushima/>)

徳島県の地震活動

震央分布図・断面図 2020年10月1日～2020年10月31日

2020 10 01 00:00 -- 2020 10 31 24:00



- ・ M0.5以上の地震を表示。
- ・ 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさとマグニチュード (M) の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さ (震央分布図のみ) を区分。
- ・ 図中のコメントは、徳島県で震度1以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード (M)、最大震度 (徳島県内の最大震度とは限りません)。

概況

2020年10月に徳島県で震度1以上を観測した地震は2回でした (前月は1回)。

1日13時47分 徳島県北部の地震 (M1.8、深さ6km) により、美馬市で震度1を観測しました。この地震は、地殻内で発生しました。

18日00時16分 紀伊水道の地震 (M3.2、深さ41km) により、美馬市・那賀町で震度1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

徳島県で震度1以上を観測した地震の表

2020年10月1日～2020年10月31日

発震日（年月日時分） 各地の震度（徳島県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2020年10月1日13時47分 震度 1：美馬市木屋平*	徳島県北部	33° 56.5' N	134° 12.5' E	6km	M1.8
2020年10月18日00時16分 震度 1：美馬市木屋平*, 那賀町和食*, 那賀町延野*	紀伊水道	34° 02.7' N	134° 37.8' E	41km	M3.2

- ・ 震源要素（緯度・経度・深さ・マグニチュード）は暫定値。
- ・ 地点名の後に*がついている地点は、気象庁以外の観測点。

震度分布図（×印は震央）

10月1日13時47分

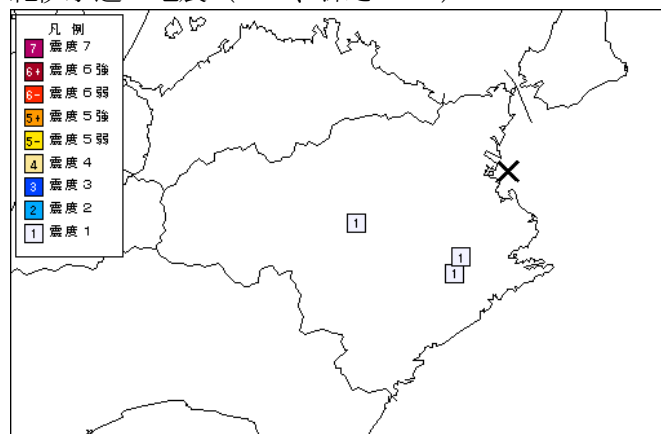
徳島県北部の地震（M1.8、深さ6km）



観測点別震度分布図

10月18日00時16分

紀伊水道の地震（M3.2、深さ41km）



観測点別震度分布図

【地震メモ】津波から身を守るために

日本は、これまで多くの津波による災害を経験してきました。最近では、平成23年の東日本大震災において、東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸を巨大な津波が襲い、甚大な被害を受けました。津波は、通常の波（風浪）とは異なり、数分から数十分大量の海水が押し寄せ、数分から数十分引くという押し引きを繰り返します。津波が陸上を襲った場合、人や建物を押し流し、風景を一変させる程の災害をもたらすことがあります。

気象庁は、このような津波災害を防止・軽減するために、津波注意報、津波警報及び大津波警報を発表し、注意や警戒を呼びかけています。津波から身を守るためには、これらの情報を理解し、迅速な避難（安全確保）を行うことが重要です。津波警報・注意報の種類及びとるべき行動は下図のとおりです。

なお、徳島県南部から高知県室戸岬までの海岸一帯は、室戸阿南海岸国立公園となっており、砂浜（海水浴場）、断崖絶壁、リアス式海岸と美しい風景が見られます。しかし、過去には大きな津波被害を受けており、今後発生する可能性の高い南海トラフ地震の津波に対しても非常に危険度の高い沿岸となっています。特にリアス式海岸で多くみられるV字型の湾の奥などでは津波が高くなるおそれがあるので注意が必要です。

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	<p>沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p> <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p>  <p>津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(気象庁)のシーン</p>	<p>木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。</p>  <p>(10mを超える津波により木造家屋が流失)</p>
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	<p>津波の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。</p>  <p>鳥取県鳥取市(2003年)</p>	
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	<p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p> 	<p>海の中では人は強い流れに巻き込まれる。乗っかかたが流失し小型船舶が転覆する。</p> 

【津波警報・注意報と避難のポイント】

- ・震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあるので、強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがありますので、直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局地的に予想より高くなる場合がありますので、ここなら安心と思わずに、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間繰り返し襲ってきますので、津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

【津波フラッグ（赤と白の格子模様の旗）による避難】

令和2年6月24日から海水浴場等で、「津波フラッグ」により大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたことをお知らせする取組が始まりました。

海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。